

## 人生で仇をなす人たちの役割とは！（スピリチュアル系）

人事労務の仕事をしておりますと、ブラック社員に出くわすことが多々あります。

彼らの共通点は、自分のことは棚に上げ、理不尽な要求をしてくることです。また、自責で物事を考えず、常に他責で考え、他人を攻撃してくる、極めて利己的な存在です。

彼らのような人たちが何故存在するのかを、最近よく考えます。

ブラック社員の育ってきた背景を詳しく分析し、洞察していきますと、少しずつ見えてきたものがあります。それは、彼らは、“今、ここ”に必要なだから存在しているのだということです。

特に最近では、＜人生に無駄なことなどこれっぽちもない＞ ことに気づくようになってきました。

他人の人生において仇を成す人たち。

彼らは役割があるのです。その会社の社長にとって必要だから。そして社員にとって必要だから。取引先にとって必要だから……。そういうことなのだということです。

そしていつか、仇となる社員が引き起こした問題が消滅する時が来ます。それはその問題が自分（会社・社長・社員・取引先）にとって必要なことであることを受け入れた瞬間のようです。そうすると既に問題は問題で無くなっていくようです。

そしてその後が面白いのですが、問題が問題で無くなった後、どうなるかということですが、その問題を引き起こした元凶である、そのブラック社員が社内から消えていきます。退職という形もあれば、問題を起こさなくなっていくケース（ホワイト社員化）もあります。



彼らの役割とは何なのでしょう？ 本当に不思議です。

何となく分かってきたことは、『職場とは自己の人間性を磨く道場（場所）』であり、会社の同僚は、自己（社長・社員等）の魂磨きのための砥石（といし）であるらしいということです。

スピリチュアルな世界では、あの世は有ることになっています。因みに私はある時からあの世は“無い派”から、“有る派”に転向しました。そのほうが合理的に生きられると考えたからです。（このことはまた別の機会に詳しくお話しさせていただきたいと思います。）

その、あの世の話で恐縮ですが、あの世では、何とこの仇をなした人の魂が、笑顔で自分の魂を迎え入れてくれるそうなのです。ホントかと思いましたが、どうもそのようなのです。

それが何故なのかと思われるかもしれませんが、どうも今回の人生の節目で、順風満帆にしている人生の中で、自分に厳しく当たって欲しいということ、あの世にいるときに、今回の人生で会う人たちの魂に様々な依頼をしてきているらしいのです。（どうも変化のない、大過の無い、無難な人生というものは、魂の成長には余り繋がらないようなのです。）

そのことを潜在意識が思い出し、仇を感謝で受け止られるようになると、もうこの人には仇を成す必要が無いということで、魂レベルでの約束が果たされ（契約の解除）、それ以上問題とならないようなのです。

---

一方、頑なに仇を成した人物を拒絶し、非難し、反撃していくと、問題は更にバージョンアップして、これでもかというほど、問題がこじれてくるようです。

人生の法則では、仇を乗り切って、感謝で受け止め、人生を全うした人は皆祝福されるようです。

今後の私のトラブル解決のためのコンサルティングは、上記のことを踏まえた指導に変わっていくこととなります。先月号でも申し上げましたが、戦って勝つのは下の下の策であることをお伝えしました。

上の策 = 智でもって勝つ ➡ 相手は喜んで自分から寄ってくる  
中の策 = 威でもって勝つ ➡ 威嚇され脅されているので、多少の屈服感  
下の策 = 助でもって勝つ ➡ 周囲を固められ、逃げ場がなく、屈服感を持つ  
下の下の策 = 戦でもって勝つ ➡ 痛めつけられ、復讐心を持つ 面従腹背

今後、我々が行うコンサルティングによって、お客様の社内の不協和音や不信感を払拭し、社風改善に寄与し、全員が同じ価値観を共有していけるよう、マスターマインド（下記の図ご参照）の構築につながるように活動していきたいと思っております。



「マスターマインド」とは、二人以上の、統一した願望や目標を持った人間の集まりのことであり、また、それらの人々の間で行き交う、波長の合った思考のバイブレーションのことです（ナポレオン・ヒル）。